

カビ毒にご注意を！！

梅雨時で、飼料が腐敗しやすくなっています。カビの生えた飼料は給与しないようにして下さい。

国産稲わら中のカビ毒ゼアラレノンが原因であるカビ毒が発生。

当該飼料を給与されたことによるカビ毒によるA4物質ゼラノール誘導体の検出と考えられた事例が散見。

マイコトキシン中毒とエンドファイト中毒

マイコトキシン中毒：

配合飼料や牧草に真菌(カビ)が発生しやすくなるが、真菌の中には動物に有害な物質を産出する。300種以上(アフラトキシン、ゼアラレノン、デオキシニバルノールについては飼料中の含有量の指導基準が定められている)

エンドファイト中毒：

イネ科牧草に麦角菌科の真菌が感染すると生じる。